

第2学年 国語科学習指導計画

1. 単元名 知っていることと つなげて読もう

教材名「おにごっこ」

2. 単元の目標

- ・身近な遊びを説明する文章を読み、自分の経験と結びつけて、思いや考えを発表することができる。
- ・説明の順序にしたがって文章を読み、書かれている内容を整理することができる。
- ・人の動きを表す言葉に気づくことができる。

3. 指導計画（全10時間）

次	時	おもな学習活動（第二課題は●）	◎指導上の留意点 ☆評価
一 次	1	○単元のめあてを確認する。 「自分の知っているおにごっこのくふうを見つけよう」 ○文章に書かれている内容の大体を押さえる。	◎題名に興味をもたせる。 ◎初めて知ったことや驚いたことに気づかせながら読ませる。
	2	○「おにごっこ」を読み、感想を書く。	☆自分の知っていることと結びつけて説明文を読もうとしている。
二 次	3	○第1段落を読み、問いの文を見つけよう。 ○第2段落を読み、あそび方とそのわけを見つけよう。 あそび方：にげてはいけないところをきめる わけ：おには、にげる人をつかまえやすくなる。 ●最後にまとめの一文を書き加えよう。 「これは（おに）のためのあそび方のくふうです。」	☆「おにごっこ」の問いの文を読み取ることができる。 ◎「おには～たいへんです。」や「おには～つかまえやすくなります。」に着目させる。 ☆第2段落に書かれているあそび方と、その理由についてまとめている。
	4	○第3段落を読み、あそび方とそのわけを見つけよう。 あそび方：にげる人だけが入れるところを作ったり、つかまらないときをきめたりする わけ：にげる人がかんたんにはつかまらないようになる。 ●最後にまとめの一文を書き加えよう。 「これは（にげる人）のためのあそび方のくふうです。」	◎「にげる人が～つかまらないようになります。」や「つかれた人も～あそぶことができます。」に着目させる。 ☆第3段落に書かれているあそび方と、その理由についてまとめている。

5	<p>○第4段落を読み、あそび方とそのわけを見つけよう。 あそび方：おにが交代せずに、つかまった人が、みんなおにになっておいかける。 わけ：おには、にげる人をつかまえやすくなる。 にげる人は、にげるところをくふうしたり、じょうずに走ったり、「つかまりそうだ」とどきどきしたりする。 ●最後にまとめの一文を書き加えよう。 「これは（おにとにげる人両方）のためのあそび方のくふうです。」</p>	<p>◎「おには～つかまえやすくなります。」「にげる人は～おもしろくなります。」に着目させる。 ☆第4段落に書かれているあそび方と、その理由についてまとめている。</p>
6	<p>○第5段落を読み、あそび方とそのわけを見つけよう。 あそび方：おにはみんな手をつないでおいかける。 わけ：おには、力を合わせておいかける楽しさがくわわる。にげる人は、つかまりにくくなる。 ●最後にまとめの一文を書き加えよう。 「これは（おにとにげる人両方）のためのあそび方のくふうです。」</p>	<p>◎「おには～楽しさがくわわります。」「にげる人は～つかまりにくくなります。」に着目させる。 ☆第5段落に書かれているあそび方と、その理由についてまとめている。</p>
7	<p>○第6段落を読み、いろいろなあそび方がくふうされたのはなぜか、考えよう。 「おにになった人も、にげる人も、みんなが楽しめるように、くふうされてきたのです。」</p>	<p>◎前時までのまとめを掲示し、振り返りやすくする。 ☆学習してきたことをもとに、あそび方が工夫されたわけをまとめている。</p>
三 次	<p>8 ○自分がすきなおにごっこのあそび方と、そのくふうについて考えよう。 9 10 ○人の動きを表す言葉を見つけよう。 にげる、行く、走る、おいかける、つかまる ○おにごっこやほかのあそびでくふうしたことを発表しよう。</p>	<p>◎自分の体験を思い出し、教科書のあそび方と似ているところや、くふうを考えさせる。 ☆自分のすきなおにごっこのあそび方やくふうをまとめて発表している。</p>